



R7.3.19

<お別れ散歩>

箱根教育合言葉 箱根を愛し、かしこく、やさしく たくましく

箱根町立仙石原幼児学園

日に日に厳しい寒さが和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。箱根にもようやく春がやってきたようです。令和6年度も残り、10日となりました。4月には、全園児で56人でしたが、3月1日現在63人となり、0歳児が6名。2歳児が1名増えました。箱根のにぎやかさと一緒にますます園児が増え、にぎやかになってくれたらと思います。

園の個性化目標として「仙石原の自然や人との関りを通して豊かな心を育む園作り」を目指して1年間取り組んできました。乳児クラスは、毎日のように近隣のアレンジメントケアさんに散歩に行き、広いお庭を走ったり転がったり、花や虫、落ち葉にふれたり、アレンジメントケアの方々に優しくしてもらいました。2歳児ちゅうりっぷ組は、園庭を走り、砂や水、雪や氷に触れ、先生や友達とたくさん話し、会話も弾むようになってきました。幼児クラスは、小学校との交流、地域の人との交流(民生委員・畑のボランティアの方など)他園との交流など様々な人との交流をしました。自然とのふれあいは、日々の遊び中での土や砂、草花との触れ合い、昆虫との出会い、野菜や花を育ててきました。他に年間9回にわたるビジターセンターの筑紫さんからの自然体験(葉、水、火、すすき、風、落ち葉、紙等)を行い、5感を通して感じ合う自然体験ができました。その他、園生活の中で、いろいろな経験や実体験を通し、子ども達は、心も身体もとても大きく成長しています。その中で、子どもが挨拶や生活習慣、遊びや活動を進んで行えるよう環境を用意し、日々ハートを実践し話し合う場を作り、一人一人の子どもの気持ちに寄り添い保育を進めてきたことで、自己肯定感が高まってきたように感じています。それには、保護者の皆様の温かい見守り、励まし、応援があったからだと思います。1年間、園の活動にご理解、ご協力頂いたことに感謝いたします。ありがとうございました。

さくらぐみと保護者の会

12日にさくら組が保護者を招待して、「いつもありがとうの会」を開きました。さくら組の会は、子ども達が考えたプログラムで「クイズ」「体操&縄跳び、鉄棒」「ダンス」「だるま落とし」とそれぞれが得意なものを見せた後、みんなで「ありがとうの花」のうたと手紙のプレゼントがありました。担当が制作した思い出のムービーを見てもらいました。最後にあいにくの雨でホールでの対戦でしたが、保護者とドッチボールをしました。子供たちは負けてしまいましたが、とても嬉しそうでした。子どもたちが心を込めて歌った歌や手紙が保護者の心に届き涙を流す場面もあり、とても素敵な会となりました。さくら組の保護者の皆様、お忙しい中参加ありがとうございました。



いつもありがとうの会



中華屋さん

中華屋さん開店

11日、お店屋さん給食でした。年長組のリクエストで、今年は、中華屋さんになりました。メニューは、ラーメン、チャーハン、餃子、油淋鶏、シーザーサラダ、パフェ、ジュースでした。給食の先生や真壁さん、美穂先生、園長がお店の人になり、子供たちが、好きなお店にチケットを持って買いに来て自分の席に戻って食べました。ちゅうりっぷ組も初参加!ゆり組のデザートコーナーの席で食べました。(おかわりだけ好きなものを食べました。)大人気は、油淋鶏とパフェとジュースでした。異年齢で食べて、しぜんに小さい子にお世話をする姿が見られたり、会話が弾んだりとても楽しい会食タイムになりました。

職員室給食

毎年、3月に年長児がグループごとに職員室で園長、副園長と食べる会をしています。少し、緊張して入ってくる子供たちですが、いろいろな話をして最後は笑顔になって帰っていきます。食べ終わったら給食室に一人一人食器を下げて、給食を作っている人たちに感謝の気持ちを伝えます。㊦で食後にココアかカルピス、ミルクティーのサービスをしたら大喜び!最後のグループまで秘密を守っていました。